

祝

『城山西小学校創立140周年及び 小規模特認校10周年』記念号



《はじめに》

月日が過ぎるのは早いもので、つい先日“孝子桜まつり”を開催したかと思ったら、もう「師走」の声を聞いてしまいました。

その様な中で、今年は我らの城山西小学校が大きな節目の年を迎えました。それは明治8年の創立から数えて140周年を迎えたこと、そしてさらに小規模特認校となって満10周年（今年度は11年目）を迎えたことです。

一日一日を大切に過ごしてきた歳月が積み重なり歴史となり、学校と地域の今を形作っています。近年の最大のトピックスは何といても、“廃校の危機からの脱出劇”でしょう。時代の潮流は否応なしに宇都宮市の片田舎である古賀志の里にも押し寄せ、少子高齢化に伴う児童数減少が止まらず、複式学級となり廃校の危機を迎えましたが、そこから学校と地域住民が一致団結して存続活動を展開し、児童数の回復に成功したわけですが、これも歴史の貴重な1ページとなりました。

さて、城山西小学校は来年度、小規模特認校12年目の年となります。10月1日からは平成28年度の新規入学者の受付が始まっています。また12月5日（土）には「学校一日公開日」が実施され、入学を検討している多くの地域外の方々が訪れていました。西小と地域の新たな1ページを刻むべく、この地域が一層活性化するような活動を、一丸となって粘り強く続けていきましょう。

今回は、創立140周年・特認校10周年記念事業を中心に地域の皆様に最新情報をお届けします。

最新情報コーナー

◇◇記念行事のメインイベント“記念式典”が挙行されました！！◇◇

11月21日（土）城山西小学校において、大勢の来賓や地域の方々をお招きし、これまで学校を支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを込めて、『城山西小学校創立140周年及び小規模特認校10周年記念式典』が開催されました。

式典は2部構成で行われ、第1部は、児童全員による箏の演奏と歌によるオープニングセレモニーに続き、学校長式辞、実行委委員長あいさつがあり、宇都宮市長さんをはじめご来賓の方々からご祝辞をいただくとともに、大勢の功労者の方々への感謝状を贈呈し、最後には平成16年度以降の卒業生に壇上に並んでもらい、代表者から“小規模特認校のキセキを明日につなぐ”メッセージの朗読があり、会場が大きな感動に包まれました。

第2部では、児童全員による『愛郷歌・ありがとうの花』の歌の披露に続き、“古賀志の秋のコンサート”と題して「アンサンブル・ジュビール」の皆さんによる弦楽合奏と「和久文子先生、前川智世先生」による箏の演奏が披露されました。特に子どもたちの歌は大変すばらしく、この晴れの日のために懸命に練習したことがよく分かりました。

140年という長い長い歳月を積み重ね、特にこの10年は小規模特認校としての歴史が加わり、関係者全員にとって大変感慨深い式典となり、未来永劫に渡って城山西小学校がこの古賀志の地に存続することを願わずにはられませんでした。



佐藤市長さんの祝辞



卒業生からのメッセージ



児童の心のこもった歌

記念事業について

今回の『城山西小学校創立140周年及び小規模特認校10周年』にあわせて、学校と地域が連携して、以下の様な18にも及ぶ多彩な記念事業を実施しました。

このような様々な事業が行えるのは、地域の人たちが真剣に“おらが学校”城山西小学校を大切に思っているからこそであり、他の地域には決してマネの出来ない素晴らしいことです。

関係者の全ての皆さん、ありがとうございました。

①孝子桜祭



②古賀志山清掃登山



③地域合同運動会



④マップ手ぬぐい作成 ⑤絵葉書作成 ⑥創作ダンス「木霊 歌う 笑う」(こころのアンサンブルリニューアル)

⑦記念誌の発行



平成18年に(株)国際総合企画さんの編集により発行した「小さな学校の大きな挑戦～廃校の危機から脱出中!～」の続編として、同社の唐澤社長さんのご厚意により、“小規模特認校のキセキを明日につなぐ～城山西小学校の10年の奇跡～”が記念誌として発行されました。

⑧青島広志さんのコンサート開催



ピアノの演奏もすばらしかったですが、話術も巧みで、会場は終始笑いに包まれていました。

⑨田臥勇太選手(栃木リッパレックス)の教育記念講演会開催



バスケットの日本代表にも選ばれている田臥選手をお招きして、楽しいトークと、直接触れ合える交流会を行いました。

⑩玄関桜のレリーフリニューアル



指導する
林香君先生

⑪航空写真の撮影



⑫学校概要の作成

⑬横断幕の作成



創立130周年の記念事業で古賀志や下福岡の名勝や史跡、古賀志山のビューポイントに設置した道標の傷みが目立ってきたため、修繕やリニューアルを行いました。



⑭校庭アプローチの整備

⑯藟藟会(集団登校駐車場)看板修理

今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。